

3月14日（水）第14回島根県高等学校理数科課題研究発表大会

3月14日（水）、出雲高校久徴会館にて、第14回島根県理数科課題研究発表大会が開催されました。大会には、松江北高校、松江南高校、出雲高校、大田高校、浜田高校、益田高校の2年理数科の生徒が課題研究の発表を行いました。各校の校内発表会において、優秀な研究発表に選ばれた2チームずつの合計12チームによる口頭発表での発表大会でした。研究テーマは地域の題材から発想を得たものや身近な現象に問題意識をもったものが多く、どのチームもよく考えられた研究の発表でした。

研究テーマの分野(作品数)では、数学(3)、物理(1)、化学(3)、生物(4)、地学(1)でした。今年、数学の研究が3作品の参加があり例年になく多く特徴的でした。

益田高校からは、「レピュニット数を追いかけて」と「ゴキブリの帰巢における本能と学習」という2つの研究班が発表しました。このうち、優秀賞に選ばれた「ゴキブリの帰巢における本能と学習」のチームが8月16日～17日佐賀県で開催される中国・四国・九州理数科課題研究発表大会の出場権を得ました。

